

2022年 第47回 視点 全国公募写真展

ヤング部門 あります

- 視点賞 1名 土門拳揮毫「視点」額 (賞状と賞金30万円)
- 奨励賞 3名 (賞状と賞金10万円)
- 優秀賞 7名 (賞状と賞金3万円)
- 特選 10名 (賞状と賞金1万円)
- ヤング賞 1名 (賞状と賞金5万円)
- 準ヤング賞 3名 (賞状と賞金1万円)
- 入選 (賞状と写真集「視点」)

写真はいずれも2021年「視点」の入選・入賞作品です



松元 禮子「噴煙の鳥」優秀賞



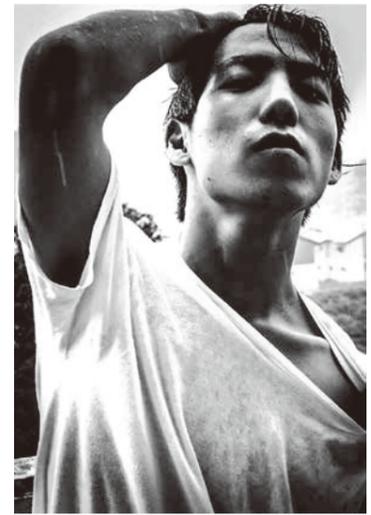
野呂 彰「パンデミック—不安な町—」視点賞



中嶋 文子「見つめる」入選



綾田 美鈴「優しい手」入選



野村 真央「大人ってなんだろう」準ヤング賞



関 雅之「わきまえない風に向かって」入選



藤原 夏子「夢の中」入選

個性豊かな写真を募ります。
一人で何点でも応募できます。



馬場 靖子「帰郷一心に刻む古里」入選

作品募集 テーマ、内容は自由

入選作品は東京都美術館で展示し
選抜作品は全国4ヶ所巡回展示します
写真集「視点」に入選作品を収録し
入選者全員に贈呈します

単写真または最大8枚までの組写真
(ヤング部門は5枚以下)
写真サイズ A4または六切のプリント
応募資格に詳しいの制限はありません

送付受付 2月11日(金)～3月4日(金)

展示: 東京都美術館 (上野公園内)

会期: 6月7日(火)～6月13日(月)

巡回展: 高知、仙台、兵庫、三重

主催 日本リアリズム写真集団(JRP) / 2022「視点」委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12沢登ビル6F http://www.jrp.gr.jp Email: jrp@jrp.gr.jp
問い合わせ先 (13:00～18:00) TEL: 03-3355-1461 FAX: 03-3355-1462

視点 選考委員

第47回



おおし
しの 大石芳野

写真家。戦禍や困難な状況などで生きる人々が主なテーマ。写真集『戦争は終わっても終わらない』『戦禍の記憶』『長崎の痕』。他にカンボジア、ベトナム、アフガニスタン、アウシュヴィッツ、沖縄、広島、福島など各写真集を出版。鶴見和子との対談『魂との出会い』。受賞～土門拳賞、紫綬褒章、JCJ賞、他。

コロナ禍で鬱々とした日々のなか落ち込むことも多かったと思います。だからこそ、カメラを手に思い切って出かけてみることも大事です。日ごろ見慣れたものにも思索的でありリアリティに富んだ出会いや発見もあると思います。さらに、今の社会に求められているものは何か…そして自分は…などと考えながら歩くと、ハッとする被写体が近づいてくる可能性も大いにあるでしょう。撮って、撮って、作品化して、応募してください。楽しみにしています。



いへ
すすむ 入江 進

1957年 東京都生まれ。デジタル一眼レフカメラの草創期より試行錯誤を繰り返し、風景写真のデジタルプリント研究に取り組む。個展「大気の匂い」、「デジタル一眼レフで始める新風景撮影術」学習研究社。JPS会員、JRP会員。

AIを取り入れたカメラやソフトのおかげで、あらゆるシーンをきれいに撮ることができるようになりました。このこと自体は素晴らしいことだと思います。しかし、撮る側がそれに依存するあまりに、撮影での緊張感が希薄になってはいませんか。何を伝え、どう表現するかはシャッターを切った瞬間に決まると思います。そんな、撮影者の息づかいの聞こえてくる作品を期待しています。



なかむら
ごろう 中村 梧郎

フォトジャーナリスト。ベトナム戦争・枯葉剤を追及。元岐阜大学教授。著書「新版・母は枯葉剤を浴びた」(岩波現代文庫)。「戦場の枯葉剤」(岩波書店)。83年ニコン伊奈信男賞。05年科学JASTJ賞。07年NYでマグナム60周年招待作品展。JCJ代表委員。JPS会友。

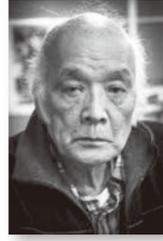
地球環境が壊されています。プラスチックのごみ、食べ残し、汚れる水と大気、豪雨、豪雪、猛暑。身近なところで崩壊が進んでいます。そして弱者である私たち。高齢者、子ども、非正規労働者、ジェンダー問題、どうとらえ、表現できるでしょうか。一枚写真でいい、組みでもいい。いま生きている私たち自身へのチャレンジです。



はなぶさ
しんぞう 英 伸三

1936年千葉市生まれ。農村問題などを通して日本社会の姿を追いつけ、1992年から中国の改革開放政策による変貌を追っている。伊奈信男賞など受賞。写真集『一所懸命の時代』など多数。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所所長。

コロナ禍で強く思うのは、写真を撮ること、見ることの大切さです。希薄になった人間関係を写真の力で回復させたい。すぐれた写真は人の心を動かす力があります。ふだん思っていること、暮らしの中で気づいたことなど、誰も撮っていない手付かずのテーマに挑戦して、独創的な作品をお送り下さい。組写真は枚数を絞ることで作品内容が際立ちます。



かなせ
ゆたか 金瀬 胖

1944年千葉市生まれ。主な関心事は社会の風景と音楽家。写真集『ZONE』、『EXPOSED 東海村感光録』、『浦廻』、『路上の伝記』ほか。写真展多数。写真の会賞など受賞。JPS会員、JRP代表理事。現代写真研究所教務主任。

避けたいこと。大袈裟なタイトル、考えすぎで難解なタイトル、いいテーマなのに撮影不足の写真、組み写真の蛇足の一枚、写真内容とマッチしないプリント。命のみなものと記録、記憶が消滅する危うさ。もう一度写真の原点を掴むつもりで拝見します。